

# きらり Vol.2 通信

神奈川県立子ども自立生活支援センター  
平塚市片岡991-1 TEL.0463-56-0303  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/g2n/2018kirari2.html>  
編集 広報委員会 印刷 (株)あしがら印刷

## ～ずっと輝き続けるために～ 大切にしたい3つのこと、 めざしたい3つのこと

子ども自立生活支援センター 副所長  
奥山裕子

「きらり」がその歴史を刻み始めてから、早くも2度目の夏を迎えました。今年はいつにも増して暑い、とても暑い夏ですが、子どもたちは熱中症対策万全に、毎日元気に過ごしています。

ご存知のように、「きらり」は時代に即した新たな複合型施設(乳児院、福祉型障害児入所施設、児童心理治療施設)として昨年4月に誕生しましたが、この新しい施設の基盤づくりのために、心がけている《大切にしたいこと》《めざしたいこと》がそれぞれ3つあります。(※1)

### 《大切にしたい3つのこと》

まず一つ目は、何よりも“健康維持”。心身ともに健康であることを優先するという事です。元気でなければ何事も始まりません。良い仕事をするためにも、健康を大切にしたいと思います。

二つ目は、“チーム力の発揮”です。仕事は分担を決めて、責任を持って行うものですが、一人の力には限界があります。組織で対応する、いろいろな考えを出し合い、チームワークよく取り組むことで、1+1=2以上の効果を生み出す、そんなチームの力を大切にしたいと思います。

三つ目は、“気になることはそのままにしない”ことです。各自が持つ知識や経験、あるいは素朴な疑問がミスや未然に防ぐ場合があります。感じた違和感をそのままにせず、言葉にして発信することを大切にしたいと思います。

### 《めざしたい3つのこと》

まず一つ目は、“一体的な運営”を確立することです。3つの施設それぞれの主体性を尊重しつつ、有機的に連携しながら、最大限の組織力を発揮していくことをめざします。

二つ目は、“人が育つ場”となることです。これは「きらり」

が子どもたちが生活し育っていく施設というだけでなく、私たち職員も専門職としてスキルアップし、人として成長する場でありたいというものです。

三つ目は、“施設文化の創造”です。企業でいう“社風”のような「きらり」特有のよい風土をつくっていきたいと考えます。これはとても壮大で、醸成されるには時間もかかりますが、誰もが受け入れることができ、後世に伝えていきたい「きらり文化」をみんなで考え、共有し、形成していきたいと思えます。

《大切にしたい3つのこと》と《めざしたい3つのこと》をイメージしながら、「きらり」のアルバムを子どもたちの笑顔でいっぱいにしていきます。(※2)

今後とも、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

※1 所長から職員に向けて不定期に発信されるメッセージ(書簡)「きらりスタイル」からの引用です。「きらりスタイル」には考えさせられること、“なるほど”と思うこと、いろいろなメッセージがたくさんつまっています。

※2 「きらり」には、乳児院に12名、福祉型障害児入所施設に30名、児童心理治療施設に21名の計63名の子どもたちが在籍しています。また、これまで、乳児院7名、福祉型障害児入所施設6名、児童心理治療施設4名の子どもたちが「きらり」から巣立っていきました。

(10月1日現在)





# ぼくたち わたしたち の一日

乳児院で生活している、みらいちゃん、  
 福祉型障害児入所施設で生活している、ひばりさん、  
 児童心理治療施設で生活している、ぎんがくんに、

## みんなの一日を教えてくださいました。



みらいちゃん

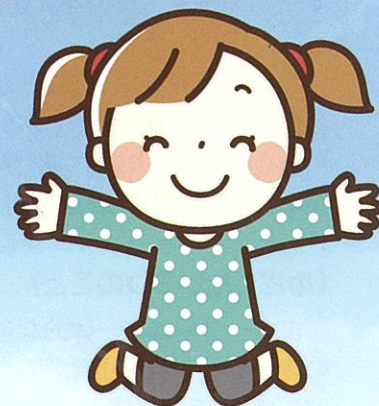
一緒に生活しているお友達は0歳から2歳までの。ミルクを飲んだり離乳食を食べたり、お散歩を楽しんだり、一人一人にあわせた生活をしているよ。朝の会は、みんなで集まって、ごあいさつをして今日の歌を歌って、それから、タッチグループ（歩ける子ども）とねんねグループ（1歳未満の子ども）に分かれて遊ぶの。晴れた日には4人乗りバギーで近くの公園に行くこともあるわ。あと、毎月みんなでおやつを手作りする日もあって、そういうときは、食べ物を見て、触って、季節も考えて作ったものをみんなで食べることは本当に楽しいな〜って思うわ。毎日、みんなで泣いたり、笑ったり、元気に楽しく過ごしています。私たちはお兄さん、お姉さん、お客様も大好きなので、もし私たちを見かけたら、ぜひ声をかけてね。でも人見知りで泣いちゃったらごめんなさい！



ぎんがくん

僕たちがひばりさんと違うのは、やっぱり学校が「きらり」の中にあるってことかな。だから朝ごはんが終わったら、登校までの時間はのんびりお部屋で過ごすことになっているんだ。学校では「自立活動」の時間が好きかな。「自立活動」の時間は、体育館でルールのある遊びや魚釣りゲーム、輪投げ、トランポリンなどをして遊んだりするんだよ。もちろん算数や国語も好きだけどね。そして、お昼ご飯は学校から普段生活しているフロアに戻って食べて、午後1時30分になったら、また登校するんだ。学校から帰ったら、宿題、明日の準備、おやつを食べて、みんなでこの後何して遊ぶか決めるんだ。最近は外で鬼ごっこしたり、虫を捕まえることが好きだなー。一時期一輪車がブームになってみんなで競って練習したから、とっても上手になったんだよ。あとは畑に植えたトマトやきゅうりに水をあげることもあるよ。外遊びをしていると、ひばりさんやみらいちゃんにも会うよ。夜ご飯を食べたら、お風呂に入って、お部屋に戻ると今日1日の出来事を振り返るんだ。楽しかったことやうれしかったことを思い出す時間でもあって、また明日も楽しいことがあるといいな〜って思うんだ。

朝は、通学バスや徒歩で近くの学校に通っているよ！学校では、いろんなことを教えてもらっていて、お友達や先生とたくさん遊んで、学校に通うのがとっても楽しいよ。学校から帰ってきてからは、おやつを食べて、宿題をしたり、みんなで外や多目的室、体育館で遊んだりしているよ。たまに疲れちゃったりしたときは、お部屋でゆっくり過ごすことにしているよ。ごはんを食べたり、お風呂に入ったりするのに、必要なときは職員さんに手伝ってもらっているよ。わたしたち、次に何をすることがわからないと、とても不安になってしまうから、職員さんに次にすることのカードを見せてもらっているの。“あっ、そうかー”と分かって行動すると、気持ちも落ち着いて居心地がいいよー。



ひばりさん





# きらり リレートーク 1

医務課長 (医師) 相良 雅子

短かった梅雨が終わり、すぐにでもセミが鳴き始めるものだと思っていましたが、それは大きな間違いで、気象庁の発表では例年この辺りの鳴き始めは7月20日ごろなのだそうです。そう思っていたら、本当に7月20日のほんの少し前に、アブラゼミやらニイニイゼミが遠慮しつつ鳴き始めました。なるほど、それぞれその時期にならないと到達できないことがあるものなのだなあと感じ入りました。

「きらり」の子どもたちも、日々暑い中元気に遊んでいますが、ちょっとしたさかいがあって素直に謝れず、自分の気持ちをうまく伝えられないこともたくさんあり、時にはものに当たったりベッドに突っ伏したりすることも。けれど成長していく過程で、いつか自分たちの気持ちを伝えることができるようになるその時期までゆっくり見守りたいと思っています。

\* 次回は、自立支援課 課長補佐 金子 譲さんをお願いします。



## 片岡神社の夏祭りに行ってきました。

8月3日、4日と片岡神社境内で開催された納涼大会に、片岡南北自治会の皆様からお招きいただき、「きらり」からも子どもたちが参加させていただきました。

子どもたちは、焼き鳥をほおぼり、当てくじに一喜一憂しつつ、伝統ある夏祭りを満喫しました。

自治会の皆様、このような機会を作っていただき、ありがとうございました。 副部長 兼 自立支援課長 平野 雅己



## 部活動を通して得たもの

小学4年生から中学3年生までの男女8人で、きらり卓球部を発足しました。約1か月の間、6月10日に開催された神奈川県児童福祉施設卓球大会に向けての活動を行いました。部の活動では全員が技術の向上を目指し、切磋琢磨して練習に取り組むことができました。

大会の結果としては上位入賞に至らなかったけれども、試合では各々が全力を出し切り、最後まであきらめず戦う姿勢を貫いていたと思います。部活動を通して子どもたちは技術の向上のみならず、礼儀作法や目標に向かってひたむきに努力することなど多くのことを学び、良い経験が得られました。

子ども第三課 平戸 幹晟

## オンブズパーソン事業について

「きらり」では、オンブズパーソン促進事業を行っています。オンブズパーソンは『子どもたちの代弁者』として、センターの職員ではない立場で子どもたちの生活改善に必要な意見表明や是正勧告を「きらり」に行う人です。主な活動内容は、生活フロアを巡回して生活の様子や環境を確認したり、個別に話す場を設け、子どもたちが生活で感じていることを聞いてもらうことなどです。

子どもたちの人権を守るために職員は、オンブズパーソンから受けた指摘を真摯に受け止め、その都度改善策を検討しています。これからもこの活動を通して、子どもたちのよりよい生活の実現を目指していきます。

### ○オンブズパーソンご紹介

山屋春恵さん (常葉大学保育学部准教授)

木原芳嗣さん (神奈川県職員OB、他成人施設でもオンブズパーソンとして活動中)

### ○平成30年度の活動(予定)

5月12日(土) 7月30日(月) 9月22日(土)

11月10日(土) 1月26日(土) 3月2日(土)

子ども第二課 古谷 泰洋

## ボランティア募集

「きらり」では、行事等のお手伝いや、学習補助、衣類の補修等のボランティア活動をしていただける方を募集しています。資格や経験は問いません。ご興味のある方はお気軽に下記までご連絡ください。

## 短期入所サービス

「きらり」では、年齢が18歳までの知的障害等のある方を対象に、短期入所サービスを提供しています。利用をご希望される方は、下記までご連絡ください。

## 施設開放

地域におけるコミュニティ作りや文化活動に貢献できるよう、「きらり」の体育館などを貸し出しています。利用をご希望される方は、下記までご連絡ください。

## 研修案内

子どもの発達や、発達障害、愛着の問題など、「きらり」が支援する子どもに関するテーマについて、公開研修を企画開催しています。内容や日程については、当センターホームページ内「平成30年度子ども自立生活支援センター公開専門研修計画」を、ご参照ください。

問合せ先: 0463-56-0314 「きらり」 自立支援課直通 (平日8:30~17:15)